

人口問題研究資料第347号
令和5年8月31日

ISSN 1347-5428
Population Research Series
No.347
August 31, 2023

日本の将来推計人口

—令和3(2021)～52(2070)年—
附：参考推計 令和 53(2071)～102(2120)年

Population Projections for Japan: 2021-2070
(With long-range Population Projections: 2071-2120)

令和5年推計

 国立社会保障・人口問題研究所

National Institute of Population and
Social Security Research
Tokyo, Japan

序 文

本書は、令和5年4月に公表された日本の将来推計人口の結果をとりまとめたものである。国立社会保障・人口問題研究所（旧人口問題研究所）は、戦前より日本の人口の将来推計を行ってきた。戦後においては昭和30年以降ほぼ定期的に行うようになり、近年では国勢調査結果の公表に合わせて5年ごとに人口の将来推計を行っている。今回は当研究所が戦後に公表した中では、16回目の推計にあたる。

日本の将来推計人口は、これまで政府の社会保障制度の設計をはじめとして、各種経済社会計画の基礎資料として用いられている。また、当研究所が別途実施している都道府県別、市区町村別将来推計人口ならびに全国・都道府県別世帯数の将来推計とともに、福祉、労働、教育、産業などの広範な分野において、それらの将来像を描くための基礎数値として用いられている。

日本は現在、人口減少社会への道を緩やかに歩み出したところであるが、今後は加速的な人口減少と世界に類を見ない高齢化という事態に直面して行く。今回の推計結果はそうした人口の将来像を詳細に描き出している。これらの結果が各方面において真剣に受け取られることを望みたい。ただし将来推計人口とは、けっして確定した運命を示したものではない。それはこの社会がこれまで進んで来た方向に進み続けたときに帰結される人口の姿であり、将来推計人口とは真に実現したい社会と現状との距離を測るための測距儀にあたる。どちらの方向に進むかはわれわれに託されているのである。

新たな将来人口推計の実施にあたっては、その考え方や前提について詳細な検証を行うために、社会保障審議会人口部会（部会長 津谷典子）が開催された。委員の方々の熱心なご審議に厚く感謝するものである。また、本推計にあたって必要な資料等について協力を得た総務省統計局、厚生労働省政策統括官（総合政策担当）付政策統括室、同政策立案・評価担当参事官室に対し、ここに厚く感謝の意を表したい。

本報告書の作成は、岩澤美帆（人口動向研究部長）を中心に、守泉理恵（人口動向研究部第1室長）、釜野さおり（人口動向研究部第2室長）、余田翔平（人口動向研究部第3室長）、吉田 航（人口動向研究部研究員）、別府志海（情報調査分析部第2室長）、是川 夕（国際関係部長）、大泉 嶺（国際関係部第3室長）、石井 太（慶應義塾大学経済学部教授、人口動向研究部客員研究員）の9名が担当し、林 玲子（副所長）の指導のもとに行われた。

令和5年8月

国立社会保障・人口問題研究所長
田 辺 国 昭

社会保障審議会人口部会委員名簿

石川 義孝 (京都大学名誉教授)
稲葉 寿^{**} (東京学芸大学教育学部自然科学系数学講座特任教授)
小野 正昭 (年金数理人)
金子 隆一 (明治大学政治経済学部特任教授)
川崎 茂 (滋賀大学データサイエンス教育研究センター特別招聘教授)
黒須 里美 (麗澤大学国際学部教授)
小西 祥子 (東京大学大学院医学系研究科准教授)
駒村 康平 (慶應義塾大学経済学部教授)
西郷 浩 (早稲田大学政治経済学術院教授)
榊原 智子 (恵泉女学園大学客員教授)
津谷 典子^{*} (慶應義塾大学教授)
富田(大崎)敬子 (常磐大学学長)
野口 晴子 (早稲田大学政治経済学術院教授)
山田 篤裕 (慶應義塾大学経済学部教授)

※ 部会長、** 部会長代理

(令和5年4月1日現在 五十音順 敬称略)

目 次

I. はじめに	1
II. 推計結果の概要	2
〔基本推計（出生中位・高位・低位（死亡中位））の結果〕	2
1. 総人口の推移	2
2. 年齢3区分別人口規模および構成比の推移	3
(1) 0～14歳人口および構成比の推移	3
(2) 15～64歳人口および構成比の推移	4
(3) 65歳以上人口および構成比の推移	4
3. 従属人口指数の推移	6
4. 年齢構造の変化（人口ピラミッド・年齢構造係数）	6
5. 主要人口関連事象の年次（将来人口年表）	9
〔基本推計（出生中位（死亡高位・低位仮定）、出生高位・低位（死亡高位・低位））の結果〕	10
6. その他の仮定に基づく基本推計の結果	10
(1) 出生中位（死亡高位）仮定による推計結果の概要	10
(2) 出生中位（死亡低位）仮定による推計結果の概要	11
(3) 出生高位・低位（死亡高位・低位）仮定による推計結果の概要	11
7. 結果および仮定の要約	12
(1) 推計結果の要約（死亡中位）	12
(2) 仮定の要約	13
1) 出生仮定の要約	13
2) 死亡仮定の要約	14
3) 国際人口移動仮定の要約	14
III. 推計の方法と仮定	15
1. 推計の方法	15
2. 基準人口	16
3. 出生率と出生性比の仮定	16
(1) 近年の出生動向	16
(2) 出生率の推計方法	19
(3) コーホート出生指標の仮定設定	20
1) 仮定設定の方法と参照コーホート	20
2) 初婚年齢分布と50歳時未婚者割合の推定	22
3) 夫婦完結出生児数の推定	22
4) 離死別再婚効果	26
5) コーホート合計特殊出生率の仮定値	26
6) コーホート年齢別出生率	27
7) 年次別出生率の推計結果	29
8) 新型コロナウイルス感染拡大（コロナ禍）の出生数縮減効果の推計	30
(4) 外国人女性の出生率	36

(5) 年次別出生率の推計結果	37
(6) 出生性比の仮定	40
(7) 出生仮定値の前回推計からの変化の要因分解： 国際人口移動、出生力変動、コロナ禍	40
4. 生残率の仮定（将来生命表）	42
(1) 近年の死亡動向	42
(2) 生残率仮定設定の方法	44
(3) 将来生命表の推計方法	46
(4) 将来生命表の推計結果	48
1) 死亡中位の仮定について	48
2) 死亡高位の仮定について	48
3) 死亡低位の仮定について	49
5. 国際人口移動率（数）の仮定	49
(1) 近年の国際人口移動の動向	49
(2) 国際人口移動の仮定設定	49
1) 日本人の国際人口移動	49
2) 外国人の国際人口移動	50
3) 国籍異動	53
IV. 参考推計および推計結果の解説	54
1. 長期参考推計・日本人人口参考推計・条件付推計について	54
(1) 長期参考推計	54
(2) 日本人人口参考推計	54
1) 日本人人口参考推計の概要	54
2) 外国人人口の趨勢と構成比	55
(3) 条件付推計	58
1) 条件付推計とは	58
2) 一定仮定および封鎖人口による将来推計人口	59
3) 出生および外国人移動仮定の変動に対する将来推計人口の感応度	60
2. 推計結果の解説	66
(1) 将来推計人口の基本的性質と見方	66
1) 「日本の将来推計人口」の概要	66
2) 公的推計の要件	67
3) 予測としての将来人口推計	67
4) 投影としての将来人口推計	68
5) 「日本の将来推計人口」の二面性	69
6) 社会経済動態との関係	69
7) 将来推計人口の基本的な捉え方	70
8) 推計の不確実性と複数仮定による推計の見方	71
(2) 将来の人口規模（人口モメンタム）	72
1) 人口置換水準	73
2) 人口モメンタム	74
3) 減少モメンタムの時代	75

(3) 将来推計人口における仮定値改定の効果—推計結果の比較分析	76
1) 平成 29 年推計と令和 5 年推計の仮定値の比較	76
2) 仮定値の推計人口に対する影響について	78
3. 用語の解説と人口学的指標の定義	80
(1) 用語の解説	80
(2) 人口学的指標の定義	82
V. 仮定値表および推計結果表	85
日本の将来推計人口（令和 5 年推計）仮定値表および推計結果表一覧	87
1. 仮定値表	121
2. 基本推計結果表（2020～2070 年）	137
(1) 出生中位（死亡中位）推計	139
(2) 出生高位（死亡中位）推計	166
(3) 出生低位（死亡中位）推計	167
(4) 出生中位（死亡高位）推計	168
(5) 出生高位（死亡高位）推計	169
(6) 出生低位（死亡高位）推計	170
(7) 出生中位（死亡低位）推計	171
(8) 出生高位（死亡低位）推計	172
(9) 出生低位（死亡低位）推計	173
(10) 推計比較表：出生中位・高位・低位（死亡中位・高位・低位）	174
3. 長期参考推計結果表（2071～2120 年）	195
(1) 出生中位（死亡中位）推計	197
(2) 出生高位（死亡中位）推計	206
(3) 出生低位（死亡中位）推計	207
(4) 出生中位（死亡高位）推計	208
(5) 出生高位（死亡高位）推計	209
(6) 出生低位（死亡高位）推計	210
(7) 出生中位（死亡低位）推計	211
(8) 出生高位（死亡低位）推計	212
(9) 出生低位（死亡低位）推計	213
4. 日本人人口参考推計結果表（2020～2070 年）	215
5. 条件付推計結果表（2020～2070 年）	229
(1) 仮定値一定推計・封鎖人口推計比較表	231
(2) 出生・外国人移動仮定による感応度分析比較表	238
附. 参考資料	253